



三百六十五歩のマーチ

校長 尾崎 淳一

- ① しあわせは歩いてこない だから 歩いてゆくんだね
一日一歩 三日で三歩 三步進んで二歩さがる
- ② しあわせの扉はせまい だから しゃがんで通るのね
百日百歩 千日千歩 ままになる日も ならぬ日も
- ③ しあわせの隣にいても わからない日もあるんだね
一年三百六十五日 一歩違いでにがしても

最近、なぜか流行っている『昭和・平成・令和の名曲トップ100』のようなタイトルのテレビ番組で、しばしばランクインする「昭和の名曲」です。この『三百六十五歩のマーチ』は、1969年（昭和44年）の**大ヒット曲**ですから、私が生まれる遙か前の出来事です。注目すべきは、「三步進んで二歩さがる」という歌詞です。もちろん、「人生は順調な時ばかりでなく、後退してしまうこともある」という意味があるのでしょう。それでも、「**プラス一歩**」と考えれば、前進しているのは間違いなく、素晴らしいことです。しかし、欲張りな私はこのように考えます。「進むのも下がるのも一歩は一歩。結局は五歩も歩んでいるのだから、**プラス五歩**ではないか」と。物事は**考え方次第**ですね。

さて、先週土曜の「刈谷・知立地区中学校選手権大会」では、3年生が【引退】をかけた大一番に臨みました。



順調に**勝ち上がるチーム**があれば、思わぬ苦戦を強いられ、**敗北を喫したチーム**もありました。これが**勝負の厳しさ**であり、「**最後**」の重みなのです。誰もが「**勝利**」を目指して努力してきたのですから、「**敗北**」は後退と考えることでしょう。しかし、「三步進んで二歩さがる」ですから、大切な「**一歩**」に違いありませんし、悔しさを糧に**次は前進する順番**です。引退した**竜北3年生の皆さん**、お疲れ様でした。よく頑張りましたね！

「**幸せ**」に向かって、自ら歩いていきましょう。**西三大会**を目指し、「竜北生、G o!!」

土曜日の気温は30℃を超える予報ですから、「暑さ」との闘いにもなりますね。試合終了の瞬間まで、**熱い竜北生**の姿を見届けてくだされば幸いです。「竜北生、G o!!」

（令和8年7月10日）